



迎

春

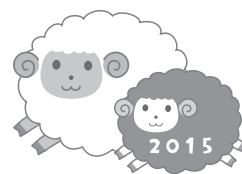
▲出雲市佐田町農村公園吉栗の郷のひつじ



発行所 島根県隊友会
編集協力 出雲駐屯地
広報室
印刷所 (有)福間秀文堂



Gibraltar
ジブラルタ生命



新年のご挨拶

第13偵察隊長兼出雲駐屯地司令

2等陸佐 伊達俊之



謹んで新年のお喜びを申し上げます。
年頭にあたり、我が国の平和と繁栄を願いますとともに、陸上自衛隊出雲駐屯地をご支援頂いている島根県隊友会をはじめとする各防衛協力団体の皆様の弥栄をお祈り申し上げます。

ご承知のとおり、昨今の日本を取り巻く情勢は大きく変化し、平成25年12月には新たな「防衛計画の大綱」が閣議決定されました。これに伴い、陸上自衛隊としても我が国の防衛態勢・体制の強化に取り組んでいるところ、昨年8月に第13偵察隊長兼ねて出雲駐屯地司令として勤務する機会を頂き、広島豪雨災害に際しては捜索活動に従事するとともに、日本海に面する山陰地区の現状に触れ、昨年は改めて自衛隊の役割の重要性を実感する年となりました。また、駐屯地の各隊員も皆様のご期

待にこたえるべく、黙々とそれぞれの責務の完遂に努め、多忙の日々を過ごしました。「防衛計画の大綱」の見直しとともに、「国家安全保障戦略」が策定されたことが示すように、自衛隊の第一線部隊の実力は今後も更に高いレベルが求められています。出雲駐屯地を拠点とする我々としても、日々変化する国内外情勢の中にあつて、決して隙を見せることのないよう、それぞれの任務に益々精励することが必須であると認識しています。

本年も隊員一同、皆様のご期待に添うべく堅忍不拔の精神をもって職務に邁進する所存です。我々を取り巻く環境が如何に向かい風であっても皆様の御力添えとご指導が強い追い風です。本年も、引き続きご厚情を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

出雲地区防衛協力会 会長 (出雲市長)

長岡秀人



謹んで新年のお喜びを申し上げます。伊達司令をはじめ、出雲駐屯地の隊員のみならずにおかれましては、平素から我が国の平和と安全のため、また、本地域に対して多大なるご尽力を頂いていることに深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

昨年は、出雲駐屯地開庁61周年を記念し、10回目の出雲駐屯地市中パレードが挙行されました。当日は多くの来賓を迎え、多くの市民が沿道埋める中で盛大に開催することができました。

また、本年3月には就役予定である護衛艦「いずも」につきましては、昨年末に後援会が出雲地域経済団体協議会を中心に設立されており、今後とも護衛艦「いずも」のゆかりの地として、支援を行っていく考えです。

地震や局地的な豪雨など、予測の困難な災害も多く発生する中、昨年8月には広島市で大規模な土砂災害があり、出雲駐屯地から災害派遣に出動されました。出雲駐屯地が身近に存在することは、大変心強く感じられるところです。昨今の日本周辺の国際情勢は、中国の日本周辺における活動の活発化や北朝鮮によるミサイル発射の軍事的挑発など、厳しさを増しており、日本海沿岸の防衛網の重要性が増大しています。長い海岸線を有する本県にとって、出雲駐屯地の重要性は高まっているところです。

新年のごあいさつ

公益社団法人 島根県隊友会 会長

持田佳郎



年頭にあたり我が国の平和と繁栄を願い出雲駐屯地の隊員、島根県隊友会の皆様がご家族共々の弥栄をお祈り申し上げます。

最近、米国大統領の「世界の警察官たり得ない」発言がきっかけで東欧はじめ我が国周辺地域において力により勢力地図を塗り替えようとする動きが、顕在化して来ております。また、国内においても「未だかつて経験したことのない」と形容される様々な災害が発生しています。そのような中我が国存立の基盤である自衛隊の実力と縦深戦力たる予備自衛官の存在は益々重要となつてきております。出雲駐屯地の皆様には、日夜教育訓練をはじめ各種業務に積極的に取り組んでおられる事に対し心より敬意を表し感謝申し上げます。昨年は、六月に南スーダンPKO参加隊員の任務完了帰国、八月には広島土砂災害発生に伴う駐屯地挙げての災害派遣等国内外において目に見える形での行動を

立派に成就されました。これらは偏に平素からの反復訓練により練度の維持向上と一旦事あらば直ちに対応しうる「常在戦場」を実践されている賜であり、一県民、自衛隊OBとして誇りに思うと同時に頼みとする所でもあります。

島根県隊友会は、引き続き会勢の拡大を図るとともに各種活動の活性化に努力したいと考えております。「隊友」紙には毎月島根県隊友会の活動が掲載されております。これは、会員の皆様にタイムリーに情報を発信するとともに参画の輪を広げたい思いで話題を提供してまいります。27年度は、定期総会の他隊友会中国ブロック研修会、島根県自衛隊殉職者追悼式等の重要な行事が予定されております。各支部、各会員挙つての参加とご協力をお願いいたします。今年も「隊員としての自覚と誇りそして仲間意識を持つた行動」を合言葉に健康に留意し頑張っていきたいと思います。



新年のご挨拶

出雲駐屯地を知る会会長 高橋 英一

謹んで新年のお喜びを申し上げます。出雲駐屯地におかれましては、平素から我が国の平和と安全のため、また、地域の災害支援活動などに取り組みまれていることに深く敬意を表します。

平成26年8月からは、32代目の出雲駐屯地司令として伊達俊之2等陸佐が着任されました。若い感覚で、「地域に根ざした駐屯地」をお願いいたします。

昨年8月19日未明、広島県広島市で大雨により発生しました土砂災害のため、行方不明者の捜索や土砂災害の支援活動を展開されました。また、開庁61周年を記念したパレードを、秋晴れの下、出雲市役所から出雲市駅まで中心市街地にて開催されました。出雲駐屯地の存在を多くの市民の人々に発信できたものと思います。今後是非とも、継続開催を希望しています。我々「出雲駐屯地を知る会」は30名余りの商工業関係会社の会員組織です。日本の



新年の挨拶

自衛隊島根地方協力本部長 1等陸佐 堀 征己

島根県隊友会の皆様並びに出雲駐屯地の隊員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年12月1日付で、第6代自衛隊島根地方協力本部長を拝命しました。長い歴史と良き伝統を持ち、自然豊かな島根県で勤務できることは、私にとって至上の喜びとするところであります。特に昨年は、出雲大社の大遷宮、千家国麿氏と典子さまのご成婚、石州和紙を筆頭とした和紙文化の世界遺産登録など、島根県にとって明るい話題が多く、着任を大変楽しみにしております。一方で、自衛隊の入口(募集)、出口(援護・予備自)、窓口(広報・連絡調整)を担う職務の重責を禁じえないところであり、隊友会会員の皆様には、引き続き御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。島根県隊友会におかれましては、平素から国民と自衛隊の架け橋として、防衛基盤の育成及び地域防災に尽力されていくことに育して心から敬意を表するとともに、島根地方協力本部に格別の御高配を賜り深謝申し上げます。

さて、自衛隊を取り巻く環境は、中国、ロシア、北朝鮮など防衛上の懸案が依然として存在するとともに、近年は、昨年の広



新年の挨拶

出雲駐屯地業務隊長 2等陸佐 小島 勝

新年明けましておめでとうございます。隊友会、駐屯地協力会の皆様方、出雲駐屯地の隊員及び御家族が健やかかつ輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

一昨年8月、業務隊長として着任して、二度目の新年を無事迎えることができましたのも皆様のご支援ご協力のおかげと感謝しております。

昨年は、業務隊長60周年を迎え、盛大に記念行事を実施しました。また、駐屯地所在部隊の訓練検閲及び災害派遣等において各種兵站支援を行い部隊の任務達成に寄与してまいりました。



新年の挨拶

第304施設隊長 2等陸佐 渡邊 岳央

新年あけましておめでとうございます。隊友会並びに駐屯地協力会の皆様方、隊員及びご家族の皆様におかれましては、平成27年が実り多き一年になりますよう心から祈念いたします。

昨年の8月、第304施設隊長に上番し、無事に新年を迎えることができましたのも駐屯地の皆様のご協力、ご支援の賜物と感謝しております。

昨年を振り返りますと、一年を通じ様々な面で施設隊の力を試された一年となりました。7月の荒天下での訓練



新年のご挨拶

第1直接支援隊長 1等陸尉 森 功一

隊友会並びに駐屯地協力会の皆様、駐屯地の隊員及びご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。着任して2度目の新年を迎えることが出来たのも、皆様のご支援の賜物と感謝いたしております。

昨年は、8月に発生した広島県豪雨災害の災害派遣において、22日間に渡り現地に整備員等を派遣し第304施設隊への支援任務を無事完遂することが出来ま



新年のご挨拶

第312基地通信中隊出雲派遣隊長 2等陸尉 安野 正樹

新年あけましておめでとうございます。隊友会並びに駐屯地協力会の皆様方、出雲駐屯地の隊員、ご家族が健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年8月、第25代基通派遣隊長として着任し、はじめての新年を無事迎えることができましたことは、駐屯地の皆様のご支援ご協力のおかげと感謝しております。

基通派遣隊は、日進



新年のご挨拶

第357会計隊長 2等陸尉 村上 浩司

出雲駐屯地の皆様、新年あけましておめでとうございます。気持ちも新たに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

一昨年8月に赴任してから、2度目の新年を迎えることができましたのも、駐屯地司令をはじめとする駐屯地の皆様のご指導ご協力のおかげと深く感謝しております。

昨年は、着任以来「心技体」のバランスを強調してまいりましたが、方面会計隊持続走競技会において山陰ブロッ



新年の挨拶

偵察直接支援小隊長 3等陸尉 中村 陽平

出雲駐屯地の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年3月に偵察直接支援小隊長として着任し、無事新年を迎えることができましたのも駐屯地の皆様のご支援・ご協力の賜物であると深く感謝しております。

さて昨年の隊務を振り返りますと旅団訓練検閲、小隊訓練検閲と2回の検閲を受閲し、日々の恒常業務、教育訓練の成果を遺憾なく発揮することができ小隊の錬度向上を図れた年でありました。また、広島県豪雨災害に際しては、小隊からドー

クとして四連覇を達成することができました。また、ベテランである先任の定年退職と新隊員の配属という少人数の会計隊にとって大きな変化がありました。平均年齢は一気に下がりましたが、皆様への支援は下がることが無いよう会計隊全員で一日も早く戦力化できるように鍛えている状況です。

本年も引き続き、若返った会計隊へのご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

最後に、今年1年が駐屯地の皆様にとって素晴らしい1年になりましたことをご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

守りたい人がいる

地域の皆様へ

守りたい人がいる



第132地区警務隊出雲連絡班長
2等陸尉 富岡重之

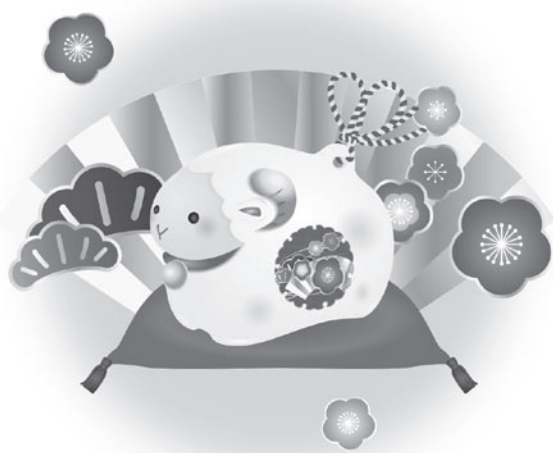
新年の挨拶

駐屯地の皆様、明けましておめでとうございます。警務隊出雲連絡班長として勤務し、2年目の新年を迎えられたことに感謝しています。

これも駐屯地の皆様と出雲の神々のおかげだと信じています。一昨年は、方面総監、陸上幕僚長の視察に伴う警務業務等、昨年は防衛大臣の来駐に伴う警務業務に始まり、夏には広島県安佐南区の土砂災害に伴う災害派遣等の一年でありましたが、そのような中2周年連続して記念式典の市中パレードに参加でき大変光栄に感じています。

警務隊はほとんど行事等で前面に出る機会はありませんが、連続して市中パレードに参加でき地域の皆様、自治体、公共団体、警察、消防機関等と一体となった自衛隊の存在の意義を感じたと思います。駐屯地各部隊隊員の皆様におかれましては、重なる災害派遣や訓練等で忙しいなか、パレードの参加の有無に係わりなく存在の意義を感じていただけたことと思います。

最後に本年も、それぞれの部隊に沿った本来の任務における訓練等に活躍されることを祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新 成 人 の 抱 負

新成人としての抱負

偵察隊陸士長 秦 海志



この度、成人を迎え、大人の仲間入りをすると「大人」としての責任が未だに漠然としか感じられずいます。

今思えば、高校卒業から何も知らないまま自衛隊に入隊し、早2年を迎えました。その間に様々なことを学び、考え、行動した2年でした。どれも私が初めてやることばかりで、たくさん失敗し、たくさん反省しました。それでも私に足りないものも不十分なことが、まだまだあります。それらを一つ一つ乗り越えていけば始めに書いた「大人」としての責任を感じられるようになると思います。私のできることを精一杯頑張っていき、立派な「大人」になりたいと思います。

最後になりましたが、私が成人になるまで支えてくださった全ての方々へ深く感謝し、これからもご迷惑をかけるであろう方々に深く恐縮しながら終わります。

新成人としての抱負

施設隊陸士長 石森 猛



20歳という節目を迎えるにあたり、2つのことを心に留め置きたいと思っています。1つ目は、社会人としての自覚を持ち、大人として責任ある

行動心掛けるということです。これからは飲酒や喫煙などが許され、社会的責任が問われます。ルールをしっかり守り、軽はずみな言動は避けるように心がけたいと思います。そして、自分の言動を顧みた時に大人として恥ずかしくないように努めたいと思います。2つ目は、常にチャレンジ精神を持ち続けることです。広い視野を持ち、何事にも向上心を持って取り組みたいと思います。そして今まで以上に自分自身を成長させていきたいと思えます。

最後に、家族や周りの人への感謝を忘れず、これからも日々精進していきたいと思えます。

新成人としての抱負

施設隊1等陸士 松本祐輔



私は新成人として自覚ある行動及び、今までやった事のなにもに挑戦していきたいと思っています。

今までの私は、指示された事に対して動く「指示待ち人間」になっただけで、自分から進んで作業することができず、注意されることばかりでした。同期や上司の方にも「自分から進んで、もう少し動いたら？」と言われていました。うまく行動に表すことができませんでした。なので私は新成人として自ら進んで動くという目標を掲げて一日一日を過ごしていきたいです。

新成人の抱負

第1直接支援隊陸士長 大草 慎



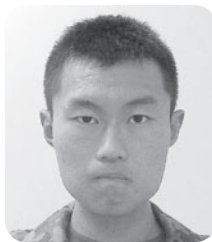
私は今年成人を迎え、新たな人生のスタート台に立ちました。そこで私は自身を新しく少しづつ変えていこうと思おうようになりました。

私は今まで最初から最後まで教えてもらいながら仕事をしていました。ですが、それは、いつまで経っても成長できないと思うようになりました。大人の世界では自分で考えて行動するのが当たり前です。その大人になつたからには、それに見合った行動をしなければいけないと思います。今の自分はまだ未熟ですが、少しずつ視野を広げ何事も自分で考えて行動できるように頑張りたいと思います。

最後に、大人として自覚ある行動、常識、責任感を忘れず、人生を送って行こうと思えます。

新成人としての抱負

基地通信隊陸士長 波多野芳樹



私は今年成人になりました。成人になるにあたり抱負として、2つあげます。1つ目は人のことを大事に出来る人間になりたいです。今

までは、人のことより自分のことをすることが精一杯で周りのことが見えていませんでした。何をしても、自己満足で周りのことを考えず行動して、人のことを大事に出来ていませんでした。しかし、人を大事に出来ない人間は、誰からも大事にされないと気づきました。私も自衛隊に入隊して2年が経ち仕事にも少し余裕をもつことが出来るようになり、周りが見えてきた時期なので、この事を心掛けて行動したいと思います。

2つ目は趣味を持つことです。私は今の仕事が好きです。しかし、仕事を頑張るためには、趣味をみつけ、休日を楽しめるようにしたいです。以上2つの事を新成人の抱負として今年1年を頑張っていこうと思えます。

新成人としての抱負

基地通信隊陸士長 武田 凌



今回、私は成人を迎えるにあたり2つの抱負があります。1つ目は、両親に感謝することです。20年間育ててくれた感謝の気持ちを伝え、

親孝行をしてあげたいと思っています。また、今までお世話になった家族や自衛隊の先輩方、これまでに出会い支えて下さった人達に感謝しようと思っています。2つ目は、大人としての責任を持つことです。社会人として自覚ある行動と責任を持つことのできる大人になり、自衛隊に貢献できるように次の世代を担えるような大人になりたいと思っています。

この2つを新成人としての抱負にして、何事にも立ち向かい困難にも負けない気持ちと、1日1日を大切に充実した日々を過ごす努力を忘れないよう、気持ち新たに頑張っていこうと思えます。

根島友隊



平成27年度 島根県隊友会事業計画案

一方針

県隊友会は、県民と自衛隊の架け橋として相互の理解を深めるとともに、防衛意識の普及高揚に努め、国防衛及び防災施策、自衛隊諸活動に対する支援、慰霊顕彰事業並びに地域社会の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する。

このため、公益目的事業の更なる定着充実化により会活動の活性化を図るとともに会勢の拡大、収益事業の強化により会基盤の充実を図る。この際、会員の福利と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力化に努める。

二 重視事項

- (一) 元自衛隊員としての自覚と誇り、そして仲間意識をもった行動
- (二) 会勢拡大施策に伴い出雲駐屯地に入会促進担当会員を配置し即日入会者の増加を図る。
- (三) 隊友会総会への議決権の代理の徹底
- (四) 隊友紙及び図書を通じ、防衛意識の普及高揚を図る。
- (五) 出雲駐屯地記念日行事を始め県内自衛隊記念日行事等への参加
- (六) 出雲駐屯地・島根地方協力本部及び自衛隊協力団体等との連携強化
- (七) 防災事項等の着実な推進と各種訓練への参加
- (八) 各種収益事業等への積極的参加
- (九) 中国ブロック研修会の担当県であり周到に準備し万全を期する。
- (十) 三年毎に実施の島根県自衛隊殉職隊員追悼式の年であり継続実施

平成26年度 定期総会実施

事務局長 曾田 繁

島根県隊友会（会長 持田佳郎）は5月31日、出雲市今市町の「ラピタウエディングパレス」で平成26年度定期総会を実施した。藤原智信副会長の開会宣言、国家斉唱、物故会員に黙祷、会長挨拶、山口芳正自衛隊島根地方協力本部長の来賓祝辞。議事に先駆け隊友会長の表彰伝達と県隊友会の表彰を実施。25年度事業報告・同収支決算および26年度事業計画・同収支予算案について審議した。特に、会勢拡大施策実施に伴い出雲駐屯地に入会促進担当会員3名（非常駐）を配置し、即日入会者の増加を図ること、特別会員五十名を目標に勧誘に努めること、会員相互の福祉と親睦を深めるために「隊友」紙をグループで配布することなどを全会一致で承認した。続いて、講演会に移り、参議院議員 宇都隆史氏を迎え、「二十一世紀の日本の道しるべ」と題し、政府の外交、安全保障政策の司令塔として国家安全保障局の在り方。国益・独立と主権。我が国の繁栄と国民の生活。国と郷里を愛する心。防衛、外務での情報漏洩の重要性。また、集団的自衛権の行使容認に向けた環境整備等について拝聴。引き続き会場を異にして地元選出の国会議員秘書、県知事代理、市長代理、市議会議員、県防衛協力団体長、島根地本長、出雲駐屯地司令等の出席を頂き、祝辞、来賓紹介、そして祝電披露の後、稲吉正孝出雲駐屯地司令の力強い乾杯の音頭で祝宴に入り、なごやかな雰囲気の下、時間を惜しんでの意義ある懇親会を坂本康之県自衛隊父兄会長の「万歳三唱」を以って閉会した。

第44回中国・四国地区 自衛隊協力団体長会議

事務局長 築森 寛喜

5月21日松江市内の「ホテル一畑」において、中部方面総監をはじめ、陸・海・空の自衛隊主要幹部各位、溝口島根県知事等の来賓のご臨席を賜り中国・四国地区自衛隊協力団体長会議を実施。会議に先立ち議長選出、県防衛協会連合会会長の議長挨拶、前年度高知県での請願実施報告に続いて、各県は、事前提出済み意見の要点を順次発表し、意見集約で閉会。会場を異に、約170人が出席した記念式典では、島根県隊友会会長が主催者代表挨拶、来賓祝辞、祝電披露、集約意見承認報告、次年度開催地島根挨拶、溝口県知事が昨年7月に県西部を襲った豪雨災害について「迅速かつ的確な救助活動で早期に孤立が解消し、大変お世話になった」と感謝された。引き続き記念講演に移り、講師は東日本大震災

で10万人規模の陸海空自衛隊の統合任務部隊を指揮した塚塚治前陸上幕僚長が「大災害時における指揮官の苦悩」と題して講演。君塚氏は、東日本大震災の災害派遣で経験した大部隊の運用方法や教訓について、ビデオ等を交えて説明。災害発生から72時間を経過すると生存率が急激に低下するため「人命救助では速度を重要視した。そして、誰が一番早くできるかという価値判断で配置を決めた」と明かされた。経験のない大災害で、隊員や家族も被災者となったことから「過去を振り返らず、歴史に恥じない行動をしよう」と覚悟を決めさせることが大切だった」と力説された。また、女性サックス奏者による生演奏で始まった懇親会では、県自衛隊父兄会長の挨拶、来賓祝辞、祝杯、余興では、県西部の「石見神楽」、郷土芸能の「銭太鼓とじげさ踊り」を披露。懇親を深めつつ盛会のうちに、次回を約し、雇用協議会会長の万歳三唱をもって閉会した。

島根地方協力本部が実施する 就職指導教育に協力

事務局長 金子 光治

島根県隊友会は、7月9日（水）会勢拡大施策（試行）に指定された出雲駐屯地において、島根地方協力本部（本部長 山口芳正 1佐）主催の平成26年度第一回就職指導教育の場で、定年退職予定者（参加者13名）に対して、隊友会の広報を実施した。

本教育は「退職予定隊員に対し、社会・労働情勢等の職業選択に必要な知識及び再就職に当たっての心構えを教育して、円滑な再就職活動に資する」ことを目的に、貴重な時間を頂いた。

先ず隊友会長の挨拶、続いて2名の入会促進担当者が自らの民間企業に再就職した経験を踏まえての心構え、隊友会の概要、そして、具体的な活動内容及び入会の手続き等について説明した。また、質問等にも懇切に対応、所期の目的を十分に達成することができた。教育終了後、島根地本から「隊友会の会勢拡大に積極的に協力する」旨の心強い励ましをいただき、今後も一人一人きめ細かな説明を継続していくこととした。

出雲駐屯地開庁記念の 祝賀会を主催

副会長 藤原 智信

島根地域の防衛・防災の要を担う陸上自衛隊出雲駐屯地（伊達俊之司令）の開庁61周年

記念日行事が10月19日、出雲市内で行われた。10時から今市町のくにびき中央通りで記念式典と市中パレードが約2000人の市民が見守る中で行われた。式典の式辞で伊達司令は大勢の市民を前に「皆様に信頼され、愛される駐屯地を目指し、期待に応えられるよう、さらなる訓練に精進したい」と力強く挨拶をした。また、市中パレードは平成17年の「平成の大合併」を記念して以来10周年を迎え、海田市駐屯地、米子駐屯地、防府基地も参加し、総勢130人が参加するとともに、機関砲を搭載した偵察警戒車、自走架橋や災害復旧機材車両など44台が、JR出雲市駅北側の県道500メートルを行進。上空では、人員輸送などに使う多用用途ヘリコプター1機が観閲飛行した。一方、出雲市役所では、（同市今市町）昨夏の県西部豪雨災害など被災地での活動パネルを展示した。

思い出

浜田支部長 長谷川 正宣

何時もながら、福山通運の行事に招待を受け有難く思っています。なかでも、宮島への一泊旅行は、私の詩集に思い出の1ページであります。

宮島には、中学の修学旅行で一度行ったことがあり、その後は国道二号線をトラックの窓から見る情景で、弥山の山脈にかかった春霞と暮れなずむ瀬戸の景色が旅情を醸し出してくれました。そこで「瀬戸の旅」と廃材を用いて、鋸・カンナでの手作業による「木片パズル」をお礼として、広島支店へプレゼント。喜びの返電をいただき恐縮した次第です。また、大阪城ホールでの運動会終了後は御堂筋を散策したこと。図らずも近年4月姪の結婚式が奈良であり、帰りに難波から戎橋まで散策、銀杏並木が僅かに芽吹いて新緑の風が肌に優しい午後を過ごすことができました。確か松尾芭蕉終焉の地も御当地だろうかと思いつながら大阪を後にしました。

2014 島根県隊友会 グラウンド・ゴルフ交歓大会

事務局長 築森 寛喜

島根県隊友会は、平成26年10月6日（月）1300から出雲市の平成スポーツ公園グラ

ウンド・ゴルフ場において「2014 島根県隊友会 G・G 交歓大会」を開催した。懸念された台風18号の風雨も午前中に上がり、時には青空もあるなか会長以下26名（女性5名含む）が参加。開会式での持田会長挨拶、築森副会長による統制事項等説明ののち、公益社団法人 日本グラウンド・ゴルフ協会ルールを適用。特に、マナー及びエチケットを重要視し、各組長統制のもと、2ラウンド（16ホール）をプレーした。中には、久方振りにクラブを持つ会員は距離感とボールの行方に苦慮されるも、ホールインワンに笑顔あり。また、ホールポストの脚に当たりホールインワンを逃がす人、はたまた、ポスト近辺を往復する人ありで一喜一憂し、融和親睦正しくスポーツの秋を大いに楽しんだ。（大会成績）

県総合防災訓練に参加

大田支部長 竹下 辰夫

島根県隊友会は10月26日島根県総合防災訓練が大田市運動公園を主会場に展開され、大田支部を主体に、持田光頼理事役（防災担当）以下10名が参加した。自衛隊、警察、消防、各種団体等の緊迫した中での的確な状況判断に基づく整齐とした行動は参加者に大きな感動を与えた。

わが隊友会は、自衛隊、日赤島根支社、地元婦人会等総勢40名で「炊き出し班」として40食を時程に基づき避難所への搬送に至るまで無事任務を完遂することができた。この種訓練は、関係機関との相互調整と連携の強化そして住民の防災意識の高揚が最重要視されることを再確認し、同時に的確なリーダーの存在を目的に当たりし貴重な成果を得た。また、「災害は忘れないうちにやってくる」と、定説を変えたくなるような昨今の災害状況であるが、我々は防災ボランティア組織の確立を堅持しつつ、公益事業ななく住民の安全安心に微力ながら寄与したいと思う今日この頃である。

祝12月定年退官

永年の勤務お疲れ様でした。

業務隊長 陸曹長 松本 敏浩
帰任先…出雲市小山町



松本曹長経歴

第112教育大隊 (山口)	新隊員前期
第13特科連隊 (日本原)	新隊員後期
第13特科連隊 (日本原)	弾薬手、砲手、発電機手、装輪整備陸曹 発電機整備陸曹、高射情報陸曹、装輪操縦手
第13高射特科大隊 (日本原)	装輪操縦手、火器係陸曹、ドーザ操縦陸曹
第13高射特科中隊 (日本原)	ドーザ操縦陸曹
第13後方支援隊 (海田市)	装輪車整備陸曹
出雲駐屯地業務隊 (出雲)	補給係

年男・年女の抱負



年男としての抱負

業務隊長 陸曹長 狩野 智文



今年で4回目の年男になるにあたり思うことは、多くの先輩や仲間たちに支えられてこの年を迎えられたことに感謝するとともに、3回目の年男からもう12年も経過したのかという、年月の早さを感じます。この間を振り返ってみると、職務においては上司・同僚等に迷惑かけてきた事が多く、私生活においても新しい事に挑戦する事もなく、漠然と日々を過ごしてきた気がします。

その反省から今年の目標は、自衛官としての資質の向上、又、社会人としてのスキルの向上する為の節目の年とするです。新しい部隊に配属になったことからも1日も早く職務遂行の為の知識・技能を磨き上げ、資格取得やボランティア活動など多くの事に挑戦し、又、多くの人たちと接して見聞を広めたいと思っています。これからの12年は公私共に地位・役割が大きく変化することからも、これまで以上に一日一日を大切に過ごし、何事にも前向きな気持ちで挑んでいきたいと思っています。

年男の決意

第1直接支援隊 陸曹長 三浦 清隆



今年で48歳、もう少しで五十郎である。まあ、年男も4回目ともなると何かと考えてしまふものである。これまでの私の人生、自衛隊官として、社会人として、色々な経験が、悪く言えばひかえめと言える。責任を持たない、そういった態度で過ごしていた気がする。特に自衛隊生活においては、一兵卒である事に変わりがなく、今や指導を受ける立場から指導する立場に自分なっている事を自覚せず過ごしていた気がする。家庭においてもすべて母親任せにして来た事を痛感した。これからそう長くない自衛隊生活、上級陸曹として、家庭においては良き父親として、その重責を胸に精進して生きたい。

年男としての抱負

偵察隊1等陸曹 和田 卓治



自衛隊に入隊してから、早29年の歳月が経過し、年月が経つのが日に日に早く感じるようになっていたこの頃、気が付けば今年で4回目の年男を迎えることになりました。

私のこれまでの人生の大半は、自衛官として勤務している訳ですが、これまで無事に勤務できたことは上司並びに同僚の方々のご指導とご協力、そして何よりも家族の理解があつての事と感謝しています。昨年の8月より偵察隊の本部隊(総務陸曹)に配置となり、慣れない業務の中にもやりがいを感じ、毎日充実した勤務をしています。

4回目の年男を迎えるにあたり本年の抱負としては、上級陸曹として又、偵察隊員として、何事においても常に先行的に取り組み、進化し続ける自分でありたいと思います。

4回目の年男

第1直接支援隊1等陸曹 向田 徳男



月日の経過とは早いもので自衛隊に入隊して3度目、もう4回目の年男を数え、長いようでも早く過ぎたように思います。

昨年は、7月1日に一等陸曹の昇任を頂き思い出深い年になりました。本年は、上級陸曹課程の入校も予定されており不安な面もありますが、入校までの間、体調を整え、体力を向上させ、上級陸曹としての素養を着実に身に付けて入校に望みたいと思います。そして、入校した際には上級陸曹として知識の向上を図り、部隊の戦力としてさらに貢献できる様、充実した一年にしたいと思っています。

年男の抱負

偵察直接支援隊2等陸曹 石原 智之



今年で4回目の年男(48歳)を迎える事となりました。

昨年、平成26年は、自衛隊勤務25年を向かえ、自衛隊生活も後半に差し掛かって来たところづく思います。

これからは、自衛隊勤務の大半を装輪車整備員としてやって来た経験を若い隊員に對して教えそれを若い隊員が自分の物として技術の向上に役立ててほしいと思います。私も、すぐに整備が出来たわけではなく、自衛隊に入隊する前は、民間の車両整備工場です3年間、仕事をしていました。その時は、教えてもらえないことは余りありませんでした、ひたすら先輩の作業を見て覚えるという感じでした。

今、それをやる時間はありません。少しでも早く支援隊の戦力になるように、教える所は、しっかりと教え、色々な整備を経験させる、経験が技術の向上に繋がると思っています。

最後に、この先の日々を大事にして生活が出来ればいいなと思います。

年男としての抱負

業務隊長 2等陸曹 安達 純也



新年明けましておめでとうございます。人生3回目の年男を迎えるにあたって、2回目の年男を振り返って

てみた。当時24歳の私は履修前教育、陸曹候補生(前期)、大型自動車教習所、陸曹候補生(後期)と一年の大半を教育入校で過ごしており、大変でもあり、また非常に充実もしていた事を思い出した。

3回目の年男である今年には、仕事と個人の両方を充実する年にならうと思う。

業務隊の業務にも少しずつ慣れ、今年からは「充実するために働き、働くために充実」しようと思う。「充実」といっても、遊ぶための時間ではなく、子供や祖父母など家族と大切な時間を過ごすなどして、「心」が充実し、心身・公私ともに正に「充実」した年にならう。

年女を迎えて

基地通信隊2等陸曹 大坪 希美



今年で3回目の年女を迎えることとなりました。月日が経つのは早く、2回目の年女からあつという間の12年間で。この12年間を振り返り、私の中の一番の変化は、中へへの異動です。全く知らない所への異動は不安しかありませんでした。そんな中で私は、人との出会いの大切さを痛感しました。

たくさんの方々に出会い、支えて頂いたことで、今の自分があるのだと感謝しています。

3回目の年女の抱負として「人への感謝」を掲げ、公私とも充実した日々を送ってきたいと思っています。そして、4回目の年女を迎える時に、充実した12年間だったと振り返ることができるよう、日々邁進してきたいです。

年女の抱負

施設隊2等陸曹 川本 利奈子



ふと気付くと、年女の年(末年)を迎えていました。このような機会がないと、なかなか自分を見つめ直すこともなく、淡々と日々を過ごしていたと思います。

2回目の年女からの12年間を振り返ってみれば、結婚・出産・昇任と嬉しい事が多かったように思います。この間、仕事と家庭を両立することに苦悩することもありました。家族の協力、そして周りの方達の理解や支えによって、仕事も続けられ、家庭も円満に過ごすことができています。

この年女という節目の年を、自分を見つめ直す機会とし、充実した日々を過ごせるように努力していきたいと思っています。そして、常に原点に立ち返りながら、仕事を一つずつこなしていき(スキルアップしつつ)、更に人間的にも成長してゆくことを私の抱負したいと思います。

3度目の年男を迎え

基地通信隊 3等陸曹 吉川純二



私は、今年で3度目の年男を迎えた。

2度目の年男から振り返ってみると、就職活動をしていた時、良い上司に出会い陸曹を目指し陸曹になる事が出来た事。結婚し家庭を持ち、家を建てている途中から家族の元を離れ単身赴任したこと等、この12年間は本当に私の人生にとって色々な事があったこの間、良い上司、先輩、後輩、同僚に恵まれる事が出来たかた今の自分があると思う。

現在、信電班長として、また、色々な係陸曹として日々多忙ではあるが、とても充実している。

12年後4度目の年男を迎えるまでに、まだまだ色々な事があると思うが、常に感謝の気持ちを忘れない事と向上心を持って業務に励んでいきたいと思う。

年男(羊)の抱負

第1直接支援隊 3等陸曹 美濃優樹



人生2回目の年男を迎えるに当たり、抱負について述べたいと思います。

私の新たな抱負それは、「ポジティブもネガティブも受け入れていくこと」です。

人はどうしても、ポジティブな面とネガティブな面があります。特にネガティブな面は隠したり、目を背けてしまいがちですが、それも「自分」の一面であるので、受け入れて自分の血肉とし、自分らしさを失わずに向上、成長していきたいと思えます。

…などと堅いことを申しましたが、楽しく人生を生きていることが自分のモットーなので、小さな事でも面白さを見出し、仕事、プライベート問わず、より一層充実した人生を送れるようにしたいと思います。

年男の抱負

施設隊 陸士長 小川彰太



「年男」という節目の年を迎えました。

入隊以来6年の月日が経ち、今は「あつ」という間違ったなと思っています。

今年は今後に向けて色々な資格を取得し、充実した1年にしていきたくと思っています。言うのは簡単ですが、実際に自ら行動し実行しなければ意味がなく、悔いの残らないよう積極的に挑戦していきたいと思えます。公私共に充実させ、この一年を無駄にはしないように一日一日を大切に過ごし、常に前向きに全力で何事にも取り組んでいけるように頑張っていきたいと思えます。

平成27年を迎えて

基地通信隊 陸士長 植山雅之



皆さん、新年明けましておめでとうございます。

餅やおせちが食べられました。うか。私はいつぱい食べました。

ところで私は、自衛隊生活初めての年男を迎えました。しかし同時に本厄も迎えます。

私はこの2つを迎えるにあたり、目標を掲げました。

それは健康です。これは備えあれば憂いなしという事で、悪い本厄を重点に置き、考えました。当たり前の事ではあります。本厄を迎える今年には特に留意しなければならぬ事だと考えています。

ましてや私は、現在陸曹になる事を目指しています。健康でなければ、履修前・陸教を乗り越えることはできません。

そのためケガ防止・事故防止に努め、強靱な身体を養い、そして餅のように柔軟に長く自衛官を勤められるように精進していきます。

年男の抱負

会計隊 1等陸士 江口政祐



私は、平成27年ここに雲駐屯地で、人生2度目の年男を迎えることとなりました。

ここで、私は今年の抱負として「向上」を掲げます。

今年我自衛隊入隊2年目を迎えるということもあり、何事においても昨年より上を目指していきたいと考えています。特に体力面に関しては大幅に向上するように努力していくつもりです。

また、今年はこのからの自衛隊生活の方向性を決定する上でも大切な時期です。常に気を抜くことなく自分自身に恥じぬよう、心がけながら日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。

今はまだまだ未熟で指導されることの多い私ですが、いつかは胸を張れるように日々精進していくつもりです。そして次の年男を迎える時には、陸曹となり今よりも大きく成長し、周りから頼られる自衛官として迎えたいと思えます。

出雲の女

ひと



ほっぺがチャームポイントの 恩田 優紀さん

今回、ご紹介する出雲美人は出雲駐屯地業務隊厚生科で勤務されている「恩田優紀」さんです。

【記】今日はお忙しいところお時間を頂きありがとうございます。

【優】早速ですが簡単な自己紹介をお願いします。

【記】福岡県出身で20歳です。ずっと福岡で住んでました。

【優】社会人1年目目です。雲に来ました。

【記】ご自身を自己分析をするのと?

【優】そうですね。何でもよく食べます。食べる時が一番幸せそうだって言われます。

【記】ご自身のチャームポイントは何ですか?

【優】ほっぺたです。あはは。よく人に触られます。

【記】自衛隊で、このお仕事をなさる動機は何だったんですか?

【優】震災等で自衛隊員の働きを見ていて、それを支えたいという仕事があるって聞いて、このお仕事を運びました。

【記】直接、自衛官になろうとは思わなかったんですか?

【優】できれば自衛官を目指したかったです。小さい頃、肩を怪我して、それが原因でダメだと言われまして断念しました。

【記】現在、厚生科では、どのようなお仕事をなさっていますか?

【優】出納窓口で出納係をしています。

【記】今のお仕事に就いて良かったことは何かありますか?

【優】元々、人見知りなんですけど、窓口にはいらつしやうた方とお話しすればいいから、それが克服できた事は良かったです。

【記】逆に辛かった事は?

【優】一人暮らしをしてるんですが、周りで家族で移動されてる方を見ると羨ましく、寂しくなります。

【記】趣味とかがありますか?

【優】えっと、食べ歩きです。あははは。出雲は美味しい。何か美味しい処、見つけましたか?

【記】先日、忘年会をした「アイガテ」というお店の「ポテトサラダ」はすごく美味しかったです。

【記】野球? 凄いですね! 因みにポジションは?

【優】ピッチャーでした。

【記】福岡出身なら、やはり好きな球団はソフトバンクですか?

【優】それが、実は西武なんです。

【記】え? そうなんですか?

【優】父の同級生が所属してたっていうのがあって、もう、退団されたんですけど。

【記】へえ、それは、誰ですか?

【優】それは、言っちゃダメだと言われているので...

【記】あつ、そうなんです。凄く気になります。これだけは譲れないポリシーみたいなものってありますか?

【優】何が何でも毎日、3食食べる事です。悲しい事がある時も必ず食べて、栄養を取ります。食べる事は、大事な事です。

【記】理想の男性像を教えてください。

【優】食べ物の趣味、好みが合う人ですね。私、甘い物が好きなので、一緒に食べに行けたらなあって思っています。

【記】ルックスとか、芸能人に例えたらどんな方が?

【優】大泉洋さんですね。あまり、整って無い、格好良く無い人が良いです。

【記】現在は自衛官と一緒に仕事なさっていますか?

【優】はい。入るまでは、凄くバシバシ接されるのかわかりませんが、気さくに話しかけてくださり、優しいところ良かったなと思っています。

【記】自衛官に応援メッセージをお願いします。

【優】厚生科です。いつでも待っています。何か困ったことがあれば気軽に立ち寄ってください。

【記】今日はお時間を頂き本当にありがとうございました。

【優】20歳で少しあどけなさが残る可愛い福岡出身の出雲美人でした。

訂正とお詫び

第209号、2ページの第312地区警務隊の行進とあるのを第132地区警務隊の行進と訂正してお詫び申し上げます。